

特集——“みなみしまばら”の
大学生の未来を語る会



▼市に対する思い

南島原市が誇れるものと言えば、自然を生かした農業だと私は思っています。私は失業者を農業に従事させることができないかと考えています。



▼市に対する思い

地元へ帰ると落ち着くし、懐かしく思っています。地元に残った友達から明るい話題が聞けないので残念です。



▼市に対する思い

現在、地域振興について学んでいるところです。行政について興味があったので、今回の企画に参加してみたいと思いました。

大学生の“みなみしまばら”の未来を語る会



1月5日(月)、市内出身者の大学生と市長が座談会を開催しました。この座談会は、平成20年度のカイゼンピックの提案事業の一つで、大学生生活を市外で送り、その目で市内を見て感じたことなど、若者の見地から市への提言や意見を市長に伝え、市の取り組みについての意見交換を行いました。

紙面の都合により、参加者のご意見を抜粋して紹介します。



▼市に対する思い

私は、大学で歴史学を学んでおり、島原の乱など南島原市の歴史に興味を持っています。卒業論文も島原の乱について書きました。



▼市に対する思い

南島原市が誇れるものとして、島原の乱などの歴史があります。南島原市のPRするきっかけにもなるのではないかと思います。



▼市に対する思い

祖父母が葉たばこを栽培していたことから、卒業論文のテーマにも葉たばこ栽培の活性化について書いています。

別府」と言う言葉を絶対使われないうようにしたそうです。例えば、地名をブランド化するために高級感を出したり、景観を守るために官民一体となって開発を中止させるなどの努力をしたそうです。南島原市も行政だけでなく、多くの民間の意見を取り入れながら、独自性を模索することが必要だと思います。こうした努力を続けていけば、時間はかかりますが、南島原市も由布院のように全国的に有名になるのではないのでしょうか。

市長／島原翔南高校の2年生を「南島原市ふるさとPR大使」として委嘱したところ、企業訪問をしてくれた会社から「すばらしい企画だ」とお褒めの電子メールをいただきましたが、当初は島原市役所にその電子メールが届いてい

谷口／まず、自分の家が農業です。で、メロンやみかん、お米など農産物を紹介しています。それから温泉やそうめんも。
隣／笑い話として、「何もない所だよ」と言ってしまうときもあります。話題を共有できるかなと考えて、教科書に載っている「天草・島原の乱」と「普賢岳噴火」について話をします。

加納／口之津町には昔、南蛮船が来ていたとか、島原半島全体で考えて、原城のことや普賢岳の噴火のことを話したりします。
志岐／私の大学にはいろんな地域から来ているので、長崎県のこと辺り言っていて、島原半島と言うんですけど、「島原半島って島？」と言う人もいたり、皆さんあまり知らないようです。西有家町は、コンビニもなく、電車もなく、そうめんのみちだと紹介しています。京都に戻る時には友達に、お土産でそうめんなどを配っておいしさをアピールしています。
永友／「地元はどこな所」と聞かれると「何にもないけど、のんびりした住みやすい所だよ」とよく言っています。東京は娯楽施設が多いので、刺激的な遊び、楽しみ

南島原市に対するイメージはどう感じていますか
隣／南島原市という名前からして、島原の付属品みたいなイメージがします。
志岐／なぜ(市の名称が)南島原市なんだろうと思いました。島原鉄道に南島原駅という駅名があるので、ちょっと残念な気がします。
永友／合併を市外で迎えたこともあって、今も南島原の名前に少し違和感があります。島原半島ではないような、そんなイメージがありました。
山田／名称を募集するということに、他に候補として原城市とか有馬市とかあったと思うのですが、どうして南島原市になったのかなと思いました。

谷口／長崎大学に通っているのですが、県内出身者が多いにもかかわらず、出身を聞かれたときに島原と言ってしまう。
加納／私が出身を言ったときに、相手の印象には「あー島原なんだね」という雰囲気を受け取られ、説明してもやっぱり印象に残るのは島原の地名だけなので、南島原市という市名はわかりづらいんだなと感じました。
山田／島原市と例えば「水の都島原」のようなサブネームがありますが、南島原市も「歴史の都」などをイメージできる名前をつけてはどうでしょうか。
加納／由布院は昔は奥別府と言われていて、よいイメージではなかったそうです。由布院のイメージを定着させるために、まず、「奥